

農道に毒工サ

加古川 犬、猫3匹死ぬ

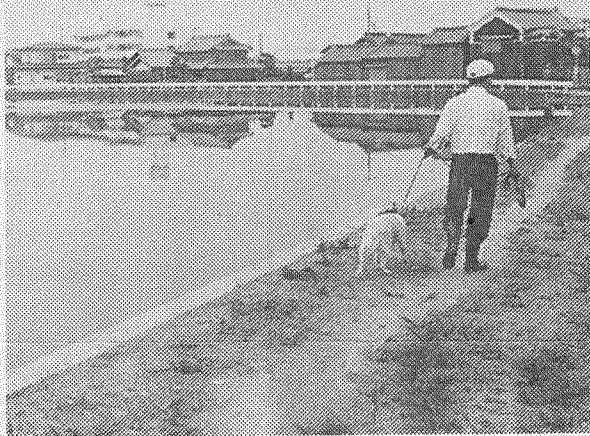
七日午後九時四十分ごろ、兵庫県加古川市平岡町新在家の農道で、近くの高校教諭藤井舜介さん(五三)が飼いだ二匹を連れて散歩

中、一匹が落ちていたちくわを食べ、けいれんを起こして間もなく死んだ。八日朝にも猫二匹の死体が農道で見つかり、近くの病院に飼いだ一匹が入院している。

加古川署の調べでは、農道には約百斤にわたり、ちくわや鶏肉、チーズなど計十五切れが落ちていた。農薬とみられる青色の粉末が半練り状に塗られており、毒物の分析を急いでいる。

現場はJR東加古川駅から北一丁の住宅街の外れ。昨年四月にも隣の稲美町の農道で、農業用殺虫剤を塗ったハムがまかれ、これを食べた飼いだ三匹が死ぬ事件が起きている。

犬や猫が毒入りちくわを食べた加古川市平岡町の農道(午前9時30分)



平成二年十一月五